



# はらじゅくかわら版

## 独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センターの理念

私たちは、患者さまの人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者様中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供すると共に、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者様がより良い医療が受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



写真(左上)は本年4月に開院する新病院です。  
新病院の開院後、右の看護学校、下方に林の見える公開空地、新病院後方の宿舎等を残し跡地は駐車場(570台収容可能)に整備されます。

航空写真 中丸定昭氏 提供

### 新病院 横浜医療センター全体図

西7病棟	東7病棟 消化器センター	7F	
西6病棟 循環器センター	東6病棟 脳神経センター	6F	
西5病棟 脳神経センター	東5病棟 呼吸器センター	5F	
西4病棟	東4病棟 母子医療センター	4F	
中央手術室、総合医局		東3病棟 救命救急センター	3F
西2病棟 心身医療センター	リハビリテーション、化学療法室、検査部門	食堂、研修室、会議室、管理部門	2F
外来診療、中央採血室、中央処置室、内視鏡室、放射線部門、売店		総合受付、救命救急センター、薬剤、栄養	1F

## 第27号 目次

院長のことば	1
新病院の診療機能体制と移転時の診療制限について	2
新病院になったら何が変わるか	3
新しい救命救急センターについて	
地域医療連携	4
～医療相談室を紹介します～	
地域医療支援病院運営委員会開催される	
寅年 年男・年女	5
クラブ活動紹介	
フットサル部	
看護師募集のお知らせ	6
看護学生募集のお知らせ	
編集後記	
外来担当医表	7



## A HAPPY NEW YEAR

発行 月：平成22年1月  
発行 行：独立行政法人国立病院機構  
横浜医療センター 広報委員会

発行責任者：高橋 俊毅  
住所：横浜市戸塚区原宿3-60-2  
電話：045-851-2621  
FAX：045-851-3902  
URL：http://www.hosp.go.jp/~yokoham/



●当院携帯サイトはこちらから

## 院長の言葉

### — 平成22年(2010年)年頭のご挨拶 —

院長 高橋 俊毅

皆様明けましておめでとうございます。

干支の寅年である平成22年(2010)年を迎えるにあたりご挨拶申し上げます。

リーマンショックにつづきドバイショックなどで未曾有の世界の経済状況悪化の中、私ども医療界を取り巻く環境は依然として厳しく「医療崩壊の危機」が叫ばれています。平成22年度診療報酬改定での勤務医対策として勤務医の労働条件や病院医療の改善に期待していますがどうでしょうか？当院は神奈川県保健医療計画が策定実施される中で地域医療や救急医療に貢献する「地域で選ばれる病院」を目指して努力してきました。平成19年10月の地域医療支援病院、平成22年4月の新病院での横浜市南西部地域中核病院の指定はその努力を認めていただいたものと考えています。

懸案であった新病院は平成22年1月29日に竣工し、機器の新設あるいは移転作業と共に開院時のスムーズな運営を目指して部門別あるいは職員個人毎の電子カルテ運用までの研修、訓練をつみ3回以上の総合訓練を行います。そして3月20日(土)午前が開院記念式とお世話になっています行政や医療関係者の内覧会、午後は当院職員のOB会、3月21日(日)の午前は地域の住民の皆様、午後には登録医の先生方への内覧会を予定しています。ご利用の皆様には今後も存分にご利用いただくために新病院の内容をご覧いただきご意見を賜るようご案内申し上げます。詳細はこのかわら版の別の稿でお知らせしますが新病院への安全な移行をはかるための準備として在院患者数の縮減や救急を含む外来制限をせざるをえません。大変申し訳ありませんがご理解とご協力をお願い申し上げます。そして平成22年3月30日の入院患者の移送と共に新病院での診療を開始します。免震7階建て、入院510床。医師92名、前期および後期研修医、レジデント32名、27診療科、臓器別あるいは機能別センター方式の病棟編成を予定しています。専任医師9名となる予定の救命救急センターは飛躍的に充実しますし、13名の医師による小児救急拠点病院としての365日、24時間の小児救急に加えてNICU、GCUの立ち上げなど急性期医療を中心とする地域医療を当院の柱としていきます。

今後も地域の皆様のご要望に充分応えられる機能的な病院として「患者中心」、「地域完結型医療」、「チーム医療」、「情報公開」など当院の基本理念を誠実に実践し、地域の関係医療機関や行政とも密に連携して提供する「医療の質と安全」の向上に努めてまいります。皆様には本年も変わらぬご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。



新病院から望む富士山



# 新病院の診療機能体制と移転時の診療制限について

統括診療部長 宇治原 誠

平成22年4月1日から新病院となります。これとともに診療機能に変更がありますのでお知らせします。

## 1. 救急診療

救急診療体制が全面的に変更になります。9名の専属医師からなる救急科を新たに開設して、看護師とともに救急診療を365日24時間体制で行います。本号かわらばんの鈴木宏昌集中管理部長の「新しい救命救急センターについて」をぜひご覧ください。

## 2. センター制診療

専門的で質の高い診療を行うために、内科と外科の入院病棟を専門領域別にセンターとして統合します。脳神経センター、循環器センター、消化器センター、呼吸器センターを開設します。

## 3. 新生児の集中治療

前号のかわらばんで鍋木小児科部長が紹介しましたように、新生児特定集中治療室（NICU）と回復治療室（GCU）を新たに開設します。最近テレビなどでNICUの不足が叫ばれておりますが、本院もこの設置により、新生児医療に一層貢献できるものと思います。

## 4. 電子カルテの導入

医療の安全と質の向上のために全面的な電子カルテの導入を行います。

現在、準備と研修を職員一同、急ピッチで行っています。新病院での診療機能の向上にぜひご期待ください。

平成22年3月30日に新病院へ移転しますが、入院中の患者の皆様の安全を優先して移転を行うために下記の診療制限を行いますので、ご理解、ご協力をお願いします。

**外 来 休 診** :平成22年3月27日から4月4日

**救急診療の制限** :平成22年3月29日午後5時から4月1日午前9時まで



新病院外観



玄関ホール



外来診察室



病棟スタッフステーション



一般病室



多目的シートを備えたトイレ

## 横浜医療センター症例検討会・研究会開催のお知らせ

### 西横浜整形外科症例検討会

開催日時 毎月第3木曜日 午後7時～

開催場所 当院大会議室

連絡先 日塔整形外科部長  
045-851-2621 (代)

### 横浜藤沢消化器疾患研究会

開催日時 毎月第2月曜日 午後7時～

開催場所 当院大会議室

連絡先 小松臨床研究部長・松島消化器科部長  
045-851-2621 (代)

各症例検討会・研究会にご興味をお持ちの先生は、どなたでも参加を歓迎いたしますので、ご連絡下さい。

# 新病院になったら何が変わるのか

## 新しい救命救急センターについて

集中管理部長 鈴木 宏昌

来年度、新病院の開設と同時に救命救急センターが大きく変貌します。

東日本最大の麻酔科医組織（約260名が参加）である横浜市立大学麻酔科の全面的協力により、麻酔科医出身の救急・集中治療医による新たなセンターが運営を開始します。このような麻酔科医が中心で運営するセンターは全国初です。

「麻酔科医が救命センターを運営する？」「診断・治療とか大丈夫？任せられる？」等々の疑問があると思います。横浜市大麻酔科は、10年以上前から救急医の育成に力をいれ、

県内外の救命救急センターと連携、研修を行ってきました。

当院には東京で有数の救命救急センターである公立昭和病院より古谷良輔医師（救急指導医）を運営の中心に迎え、さらに複数の救急専門医を含む計7名のエキスパート集団が

新たに専従します。さらに常勤・非常勤の麻酔科医も増員、センターの運営に全面的に協力する体制を取ります。

新しい救命救急センターは、1階の初療室(3ベッド)、救急診察室(6室)と3階の集中治療室(ICU・10床)救命病棟(20床)より構成されています。



救命病棟 (20床)



手術室



初療室 (3ベッド)



集中治療室 (ICU・10床)



新病院では救急車からの情報は直接センター医師が受け、重症症例の場合は初期治療からその後のICU・病棟での管理を行います。専門的治療（手術・カテーテル検査等）が必要な場合は、院内各科の協力体制を持って治療にあたります。さらに、一般外来・入院中の重症症例に対しても主治医と協力し治療にあたる予定です。

新病院で倍に増床したICU では、各診療科と毎日カンファレンスを行い、救急・集中治療医が中心となり回復に全力を尽くします。このように重症患者の初期治療からICU管理、一般病棟に出るまで、救急・集中治療医が24時間体制で管理を行います。

4月より、建物・運営等すべてが一新されます。当初数カ月は様々な混乱が生じ、ご迷惑をかけることも多々あると思います。今後、能力・規模とも県内に誇れる救命救急センターにするため、病院一丸となり努力いたします。よろしくお願いいたします。



## 地域連携室から

### ～医療相談室を紹介します～

医療ソーシャルワーカー 高瀬 昌浩

当院の医療相談室は、現在、2名の看護師（竹山、日高）と3名の医療ソーシャルワーカー（畠山、武田、高瀬）でメンバー構成されております。

患者様が病気になりますと、病気そのものに対するご自身の不安の他に、ご家族を含めた生活面においても様々な問題が起こってまいります。そうした入院・外来患者様やご家族の方々が抱える様々な不安や悩みについて、地域医療連携室職員や多職種のスタッフ、関係諸機関と連携を取りながらご相談に応じているのが医療相談室です。具体的な業務としましては、大きく「退院援助」と「療養環境の調整」の二つがありますが、今回はこれらの内容について簡単にご紹介いたします。

#### ○退院援助

・在宅調整…患者様がご家族とともに、最適な医療を受けながら安定した治療生活を送ることが出来る環境づくりの為に、退院調整看護師を中心にチームを組み、診療所、ケアマネージャー、地域ケアプラザ、訪問看護ステーションなどと緊密な連携を取りながら、退院援助を行っております。・転院調整…患者様の治療に合わせた病院、施設等で加療出来るよう、医療ソーシャルワーカーが早期に患者様、ご家族と関わり、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟などにご紹介、ご案内をしております。



医療相談室のスタッフ

#### ○療養環境の調節

患者様やご家族の方々が安心して療養生活を続けていくことが出来るよう、病気に付随する様々な問題に対し、一緒に考えさせていただきます。

より良い医療を受けるには、より良い環境が必要です。

より良い介護を受けるにも、より良い環境が必要です。

今後も、医療相談室職員一同、患者様やご家族にそうした環境を提供し続けることが出来るよう、精一杯努めてまいりたいと思います。

### 地域医療支援病院運営委員会開催される

地域中核連携室長  
江南 真人

横浜医療センターでは、平成19年9月2日に地域医療支援病院の承認を受けました。

それに伴い、医師会代表者及び行政機関代表等の方にご出席いただき、定期的に「地域医療支援病院運営委員会」を開催し、地域医療の連携強化に向けて取り組んでいます。

平成21年12月2日には、第6回運営委員会を開催しました。委員会では、当院の地域医療機関への紹介・逆紹介、救急外来の状況等及び来年4月にオープンする新病院の概要について報告しました。

一方、各委員からは、紹介状を持たない患者さんへの対応や新型インフルエンザ患者が増えている状況の中で重症患者受入等についてご意見をいただきました。

また、新病院に関しては、患者さんにとってわかりやすい診療科の標榜や移転時期の外来制限について十分な広報を行うこと等についてご意見をいただくとともに、新病院に対する期待も寄せられました。

新病院では、現在の診療体制に加え、救命救急センターの充実や小児科、周産期医療の強化を図って参りたいと考えております。今後とも、当院の登録医療機関をはじめ、地域の各医療機関と協力しながら地域医療の充実を図ってまいります。

# 寅年 年男・年女

今年は寅年！ ということで年男・年女に年頭の抱負など伺ってみました。



## 西3階病棟 極並 香織

2010年は年女であり、4月には看護師2年目となります。

今年の抱負は、患者様一人ひとりに耳を傾け、患者様が少しでも笑顔になれるように接する事です。

また、プライベートではワールドカップイヤーということもあり、大好きなサッカー観戦を去年よりもっとできたらと思います。

新病院になるとともに、仕事・プライベートどちらも去年より充実できるよう、前向きに頑張っていく1年にしたいです。



## 業績評価係長 大島 剛俊

早春の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

光陰矢のごとしとは申しますが、年男だからと執筆依頼を受け改めてそんな年になったのか驚きました。今年には新病院の開院を控え、正月気分は来年の課題に残すこととして、準備に邁進する所存です。この様な大きな事業に一員として携る機会はありません。寅年、獅子座で体だけは不思議に丈夫です。このチャンスのやりがいを感じつつ、体力の

限界まで頑張ります。浅学の身ではありますが、学なり難しで新病院プロジェクトの足を引っ張ることの無いよう研鑽に努めますので、今年も変わらずのご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



## 教育主事 長谷川 幸恵

明けましておめでとうございます。

この掲載を受けるにあたって歳がばれるからとさんざん拒み続けましたがもう隠す年齢ではないことに気づき、掲載をさせていただきます。

横浜看護学校が大型化させてから3年が過ぎようとしています。昨年度、学校法訪問を湘南、小田原地域まで広めましたがまだまだ、大型校になったことへ認識されていない現実がありました。今年も学生確保に奮闘し、横浜看護学校が神奈川県内や他の地域の方々に少しでも多く知っていただけるようにしていきたいと思います。

ちなみに今年の自分の目標は、寅の爪を隠し、牙を隠し穏やかに過ごしていきたいと思います。

## クラブ活動紹介

当院には、スポーツや趣味など好きな人同士が自然と集まって活動しているクラブがあります。そんなクラブ活動をご紹介します。今回は、フットサル部です！



## フットサル部

研修医2年 李 岳龍

今年の夏、横浜医療センターではフットサル部を発足し新たな交流の場となっています。

心地良いトレーニングに新鮮さ、サッカーとは一味違った奥深さが加わり、見た目の面白さ以上に魅力を引くスポーツです。11月には公式の試合で見事優勝を果たし、今後は活動範囲を広げ病院間の交流や試合を行う予定です。応援も大歓迎ですので是非とも先生・看護師の方々の勇姿を見に来てください。



練習風景



優勝の記念写真



# 看護師募集のお知らせ

## 平成22年春の採用について

- 応募資格  
看護師、助産師の資格を有する方、または平成22年3月に資格取得見込みの方。
- 試験日 平成22年1月16日（土）
- 試験会場 横浜医療センター
- 試験内容 筆記試験および面接試験
- 応募要項 必要種類

	受験願書	卒業(見込)証明書	成績証明書	看護師等免許証(写)
資格取得見込者	○	○	○	※
有資格者	○	○		○

※准看護師免許証がある場合は写しを提出。

### 書類提出先

〒245-8575 神奈川県横浜市戸塚区原宿3-60-2  
国立病院機構 横浜医療センター 管理課給与係長 あて

### 書類提出締め切り

試験日の10日前までに必着のこと。

## 平成22年度途中採用について

常勤看護師（夜勤可能な方）、非常勤看護師（日勤・夜勤専門）を随時受け付けていますのでご連絡ください。

問い合わせにつきましては、下記担当までご連絡頂きますようお願い致します。

（担当）横浜医療センター 管理課給与係長

TEL 045-851-2621 E-mail 3133jy01@hosp.go.jp

# 看護学生募集のお知らせ



●携帯サイトはこちらから

## 一般入試：22年1月21日（木）

	願書受付期間	受験科目
一般入試	H21.12.15（火）～ H22.1.13（水）	（午前）国語総合（現代文） 英語Ⅰ・Ⅱ 数学Ⅰ （午後）面接

※奨学金制度あり

## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。

お正月にはその年の目標をたてたりするのが世の慣わしですが、みなさんは今年一年どんな年にするか決めましたか。

看護学校では、3年生が4月から看護師として働く自分の姿を目標に、国家試験合格に向けて受験勉強に励んでいます。この努力が実って、3月には全員の夢が実現することを願って、残り2カ月みんなで頑張っていきたいと思っています。

看護学校教員 辻 由紀



診療科・曜日	月	火	水	木	金	備考	
内科	総合内科	第1・3週内科 第2・4・5週循環器	第1・3・4・5週消化器 第2週 内科	榎原 基史	高橋 竜哉	曾我 隆義	▲:紹介状持参の方のみ ■:午後の予約のみ ■:午後の予約のみ 《循環器科新患当番医》 (月)第1・2[田中]・第3・4・5[岩出] (火)田中・(水)岩出・(木)田中[岩出]・(金)網代
	糖尿病 内分泌内科	高木 佐知子	川原 智子	宇治原 誠	宇治原 誠		
	神経内科	上木 英人		検査日	高橋 竜哉(新患) 遠藤 雅直(予約)	高橋 竜哉	
	呼吸器内科	濱 雅文	検査日	山川 泰	検査日	榎原 基史 ■山根 章	
	消化器内科	高橋 麻衣	鈴木 大輔	松島 昭三	野登 はるか	小松 達司	
	循環器科	内田 吉枝	岩出 和徳	田中 直秀	▲田中 直秀	岩出 和徳	
		加藤 丈二	へーすまーカ外来(交代制)				
リウマチ膠原病科	曾我 隆義	検査日	検査日	関口 章子	■関口 章子 ■曾我 隆義		
心療内科	検査日	森田・佐倉	武川 吉和	検査日	検査日	完全予約制(要紹介状)で午後のみ<火曜日><(物忘れ外来)>/<水曜日><(一般・小児心身症)>	
精神科	森田 睦郎	武川 吉和	山口 和己	佐倉 義久	武川 吉和	※月～金:初診の方は10時までに受付を済ませて下さい。(要紹介状、1日2名の予約制) 初診は左記の再診担当医以外の医師が診察します。詳細は精神科外来にお尋ねください。	
小児科	鎌木 陽一	菅井 和子	菅井 和子	鎌木 陽一	小林 慈典	注① 第4週 塩谷 注② 第3, 4週 野澤	
	藤塚 麻子	本井 宏尚	石津 博子 注①	長濱 晶子	小郷 寛史		
外科	清水 哲也	関戸 仁	松田 悟郎	松本 千鶴	注⑥	注⑥ 急患のみ受付	
	佐野 渉	浅野 史雄	一万田 充洋	佐野 渉			
呼吸器外科				山仲 一輝	坂本 和裕 山仲 一輝 椎野 王久	ご紹介については外来日以外でも随時受け付けておりますので、直接ご連絡ください。	
整形外科	国府 秀俊	日塔 寛昇	国府 秀俊	日塔 寛昇	安羅 有紀	(受付時間)初診・予約外再診とも 8:30~10:00 注⑦予約のみ	
	山崎 吉以	国府 秀俊	山崎 吉以	安羅 有紀	岩本 直之		
形成外科	黒柳 美里	橋本 政敏	岩本 直之	橋本 政敏	黒柳 美里	日塔 寛昇注⑦	
	村下 一晃		村下 一晃	村下 一晃	村下 一晃		
脳神経外科	急患のみ (手術日)	▲ 交代医師 ※(脳ドック)	向原 茂雄 ※(脳ドック)	急患のみ (手術日)	藤津 和彦 市川 輝夫 ※(脳ドック)	▲:第1・3・5週(火)岡田 富 第2・4週(火)宮原 宏輔 ※詳細はPM11:00~5:00の間に地域医療連携室までお問い合わせください	
心臓血管外科	益子原 幸宏	手術日	東館 雅文	東館 雅文	東館 雅文	木曜日は予約患者のみ(新患受付無し)	
皮膚科	高須 博	高須 博	高須 博	高須 博	高須 博	水曜日午後は手術の為、入院患者の依頼・往診はお断りしています。 至急診察が必要な場合は、電話をお願いします。	
	谷口 友則	谷口 友則	谷口 友則	谷口 友則	谷口 友則		
泌尿器科	本田 直康	本田 直康	手術日	奥野 紀彦	本田 直康		
産婦人科	向田 一憲	後藤 美緒	窪田 与志	乗杉 輝彦	中村 秋彦	(受付) 初診・予約外再診とも 月・水・木曜日 8:30~10:00 火曜日は新患(要紹介状)・急患のみとなります。8:30~9:30	
	窪田 与志	長谷川 瑛	神保 覚子	岩佐 朋美	向田 一憲		
眼科	清水 康平	手術日	清水 康平	清水 康平	手術日	(受付) 初診・予約外再診とも 月・水・木曜日 8:30~10:00 火曜日は新患(要紹介状)・急患のみとなります。8:30~9:30	
	秦 桂子		秦 桂子	秦 桂子			
耳鼻咽喉科	新橋 渉	向出 光博	春日井 滋	高津 光晴	宮本(第1,3)及川(第2,4)	(受付) 初診・予約外再診とも 8:30~10:00まで	
放射線科		皆川 由美子 注⑦	幡多 政治 注⑧			※注⑦火曜日13:30~15:30【予約は内線4307まで】【完全予約】 ※注⑧水曜日9:00~11:00【完全予約制】	
歯科口腔外科	塩入 重彰 (再診のみ)	塩入 / 赤津 (午前初診・ 午後再診)	手術日	塩入 / 赤津 (午前初診・ 午後再診)	塩入重彰(再診のみ) 赤津千絵(再診のみ)	初診は、火・木曜日8:30~10:00。初診急患は随時受付(紹介状から直接連絡ください)。再診は完全予約制。再診急患は電話をお願いします。 初診可能な限り、紹介状又は診療情報提供書を持参して下さい 詳細については歯科口腔外科部長にお問い合わせください。	
専門外来 (午後のみ)	小児	アレルギー(鎌木)	アレルギー(鎌木)	アレルギー(菅井)	アレルギー(菅井)	循環器(鎌木) ※第3以外 神経外来(第1,3,4 大山) 13:30-14:30予防 接種(交代制)	
		アレルギー(菅井)	感染免疫・アレルギー(小林)	アレルギー(塩谷1,3藤塚2,4)	フォローアップ外来(小郷)		
		アレルギー検査	腎臓(第1/3長濱)	神経(第3週 西山)			
			アレルギー(野沢第2/4)				
	外科	癌化学療法外来	乳癌検診	癌化学療法外来	癌化学療法外来		乳癌検診については、毎週火曜日午後2時から2時30分まで、予約制で行います。予約は②番窓口及び電話で行います
			癌化学療法外来	スキンケア外来 ※第2・4週			
	スポーツ整形外科		※注⑨				※注⑨ 担当医:【国府】 毎週15:00~16:00
産婦人科	母親教室	助産師外来※注⑩ 母乳外来※注⑪				※注⑩ 第2・4週の午前 ※注⑪ 各週午後	
アルコール							
循環		へーすまーカ外来 ※注⑫				※注⑫ 第1・3・5週【加藤】 第2週【網代】 第4週【内田】	

初診 受付: 平日 8:30~10:00  
再診 (予約外) 受付: 平日 8:30~10:00  
休診 日: 土曜・日曜日・祝日・12月29日~1月3日  
地域医療連携室(脳ドック受付)(TEL 045-853-2331)

※急患は随時受け付けます。来院前に病院にご連絡下さい。(TEL 045-851-2621)  
※紹介状又は、診療情報提供書をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示下さい。  
※地域医療連携室 TEL 045-853-8355 (月~金 8:30~17:00)  
TEL 045-851-2621 (時間外、土・日・祝日)  
FAX 045-853-8356

お知らせ 色つき部分が変わ箇所となります。ご確認の上受診ください。

(写真右)

戸塚は江戸時代には東海道の宿場として栄えており、旅籠の数も小田原に次ぐ所で江戸より10里、小田原まで10里と中間点にあるため、江戸を朝立ちして戸塚で泊まり翌朝小田原に向かって出発するので大変賑わった町でした。  
又、現在の戸塚消防署とスルガ銀行戸塚支店の間は大商店が立ち並び、旅籠や遊廓等が点在していました。



江戸時代の戸塚・旅籠宿